

製品名: Cdk4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08562**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	35kDa

抗原情報

遺伝子名	CDK4
別名	CDK4; Cyclin-dependent kinase 4; Cell division protein kinase 4; PSK-J3
遺伝子 ID	1019.0
SwissProt ID	P11802
免疫原	抗血清はヒト CDK4 の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

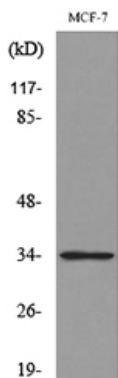
サイクリン依存性キナーゼ 4 (CDK4) Homo sapiens この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーのメンバーです。このタンパク質は、S. cerevisiae cdc28 および S. pombe cdc2 の遺伝子産物と非常に類似しています。

これは、細胞周期の G1 期の進行に重要なタンパク質キナーゼ複合体の触媒サブユニットです。このキナーゼの活性は G1-S 期に限定され、これは調節サブユニット D 型サイクリンおよび CDK 阻害剤 p16(INK4a) によって制御されます。このキナーゼは、網膜芽細胞腫遺伝子産物 (Rb) のリン酸化に関与していることが示されています。この遺伝子および D 型サイクリン、p16(INK4a)、Rb などの関連タンパク質の変異は、さまざまな癌の腫瘍形成に関連することがわかりました。この遺伝子には複数のポリアデニル化部位が報告されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。疾患: CDK4 の変異は腫瘍形成に関与しています。疾患: CDK4 の欠陥は、皮膚悪性黒色腫 3 (CMM3) [MIM:609048, 155600]の原因です。悪性黒色腫は、メラノサイトの悪性腫瘍であり、新規に発生するか、既存の良性母斑から発生します。皮膚に最も多く発生しますが、他の部位にも発生する可能性があります。酵素調節: 酵素活性には Thr-172 のリン酸化が必要です。機能: 細胞周期の制御に関与していると考えられます。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CMGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。CDC2/CDKX サブファミリー。類似性:1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。サブユニット:D 型 G1 サイクリンと安定な複合体を形成する。SEI1 および ZNF655/VIK と相互作用する。、

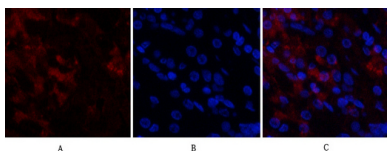
研究分野

Cell_Cycle_G1S;Cell_Cycle_G2M_DNA;p53;タイトジャンクション;T 細胞受容体;がんの経路;膵臓がん;神経膠腫;黒色腫;膀胱がん;慢性骨髄性白血病;小細胞肺がん;非小細胞肺がん;

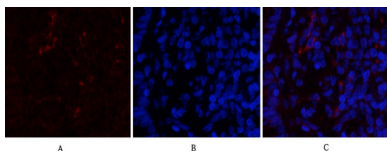
画像データ



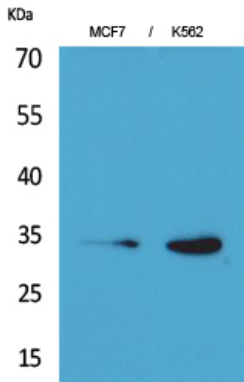
CDK4 抗体を使用した MCF7 細胞の溶解液のウエスタンブロット分析。



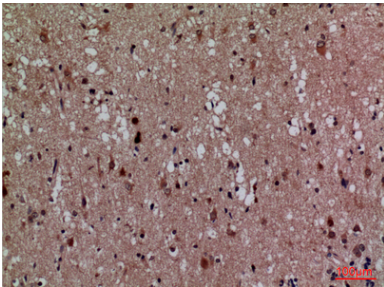
ヒト胃組織の免疫蛍光染色。1, Cdk4 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



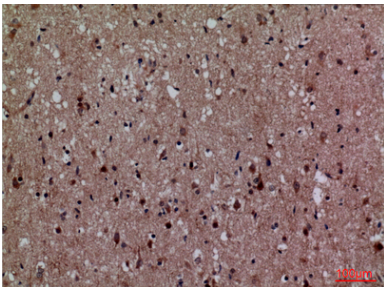
ラット肺組織の免疫蛍光染色。1, Cdk4 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



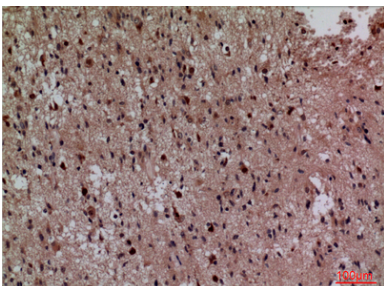
Cdk4 ポリクローナル抗体を用いた MCF7、K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



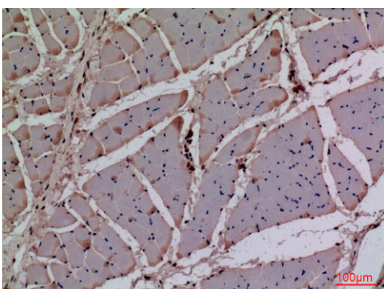
パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



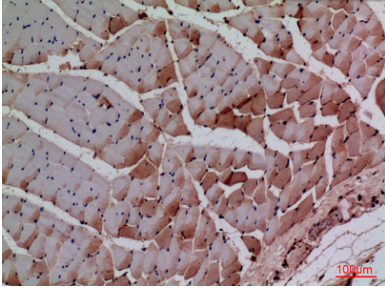
パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット筋肉の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ラット筋肉の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された